



令和7年度高段位・称号審査会開催

日時：令和7年11月3日（月・祝日）
会場：糸東会本部道場（埼玉県朝霞市）
審査員：岩田源三会長（1級資格審査員）
野澤幸洋副会長（1級資格審査員）
山岡硯太郎副会長（1級資格審査員）
坂本清副会長（1級資格審査員）
有田豊副会長（1級資格審査員）
猪越孝治相談役（1級資格審査員）
小野和宏副理事長兼技術本部本部長（1級資格審査員）
委員：鷲澤高志技術本部事務長
大木利夫指導委員会委員
手塚雄一指導委員会委員
立会人：摩文仁賢雄宗家
受審者：高段位20名、称号8名

本部道場において、午前中高段位審査会、午後称号審査会が開催されました。

高段位審査会では、開会にあたり摩文仁賢雄宗家、岩田源三会長より、「日頃の稽古の成果を発揮し、糸東会の高段位としてふさわしい技を披露してください。全員合格を目指して頑張ってください

い」と受審者への激励の挨拶がされました。

静寂かつ緊張感漂う雰囲気の中、六段位6名、七段位4名、八段位10名が受審しました。受審者は、段位審査制度に則って、審査員が指定する形と、系統の異なる自由形を行い、分解を交えた口頭試問、自由組手・法形組手について日ごろ磨いた技を存分に表現しました。自由形は決められたリストから自己選択を行いました。糸東会らしくさまざまな形が披露されました。

午後の称号審査会では、開会にあたり摩文仁賢雄宗家、岩田源三会長から、「称号というのは糸東会としての最高峰の資格で、それに挑戦する姿勢は称賛に値します。ご自身の空手理論を存分に披露してください」と激励の挨拶がされました。

称号審査は、1次審査に合格した錬士3名、教士2名、範士3名が2次審査に臨みました。受審者は、自分が悟り得た技術についてまとめた論文を基に、自分の理論を説明し実践しました。審査員の先生方からはその技術の深さをさらに探求する口頭試問がされ、受審者の考えが存分に表現されました。



緊張感漂う雰囲気の中、高段位審査に臨む受審者



Please subscribe to the channel!
<https://www.youtube.com/@WSKF-SHITOKAI>



New Homepage SHITOKAI
<https://www.shitokai.com>



SHITOKAI CALENDAR

〒351-0033
埼玉県朝霞市浜崎3-8-11 糸東会本部事務局
<https://www.shitokai.com/>
TEL 048-476-3818 FAX 048-476-3869

■令和8年2月21日（土）正副理事長会議 / リモート開催